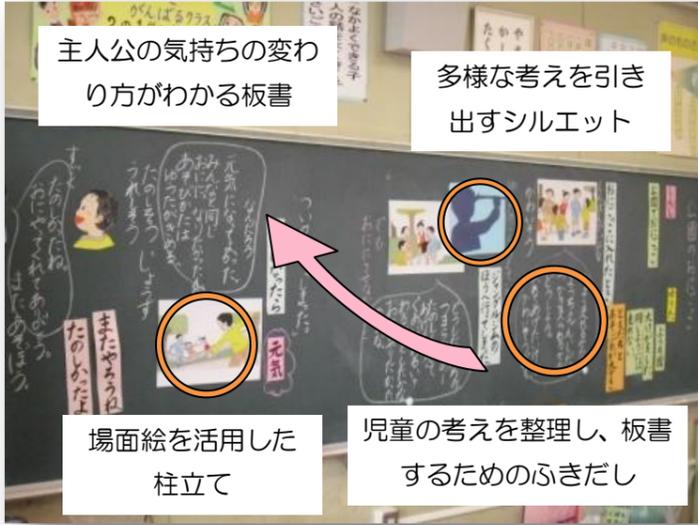


「心豊かに、よりよく生きようとする子」を育てる 道徳の時間の取組

菁莪小学校では、これまで継続してきた道徳の研究を生かし、児童の道徳的価値の自覚を深め、道徳的実践力を育成するために、様々な工夫を行い、日々の授業実践に取り組んでいる。



主人公の気持ちの変わり方がわかる板書

多様な考えを引き出すシルエット

場面絵を活用した柱立て

児童の考えを整理し、板書するためのふきだし



資料分析研修
 ・埼玉県道徳教育研究所より、花岡アイ子先生をお招きし、毎年夏季休業中に資料分析の研修を行っている。
 ・資料分析をし、花岡先生からご指導いただいた内容をもとに指導案を作成、授業研究を行い、より研究を深める。

菁莪小のマスコット
あおぎりのへん



コの字型の隊形
互いの顔を見合って話し合えるようにする。



学活(2)ゲストティーチャーの活用
題材により、栄養士や、養護教諭も授業に参加することで、児童の考えを深められるようにする。



学級活動(2)
自己決定を伴う目標づくり

板書の工夫
 ・児童の考えを支援し、主人公の考え方・生き方と児童の思考を一体化させる。
 ・話合いの話題を精選し、話合いの助けとなるようにまとめる。

話合い形態の工夫
 ・ペアや小集団で行うことで、クラスのみんなの前ではなかなか話せない児童も自分の考えを伝える。
 ・動作化や役割演技の活用

話合いを深めるために
 ・児童の意見に対して、切り返しの発問をしたり、類型化したりすることで、児童の考えを掘り下げ、ねらいに向けて深まりのある話合いにする。

テーマ発問の活用
主人公の心を追う場面発問だけでなく、よりねらいとする道徳的価値にせまるため、テーマ発問を活用する。

学活(1)学活グッズの活用
短冊や矢印、時計などを活用し、意見の分類・整理をしやすくする。



7し授業の実施
研究授業の前に、職員で授業の流れや発問、板書等について話し合い、よりよい授業にできるようにする。



1時間の流れが分かる板書

学活(2)板書の工夫
児童の考えや意見を整理し、自己決定の場面で、参考になるものにする。

学級活動(1)
学級会を中心とした学級生活づくり

学級活動(1)においては、学級会による話合い活動を通して、決まったことには責任を持って、協力して行動できる豊かな実践力を身につけさせる。学級活動(2)では、話合いを通して、よりよい自分づくりに向けての目標や方法を決め、強い意志を持って努力できるような生活態度を育てる。

「協力してよりよい人間関係や楽しい学校生活をつくろうとする子」を育てる 学級活動の取組